

特集

「研究会に寄せられた感想」

関東支部会「ユニバーサル天文教育」アンケートのまとめ

まとめ：高橋 真理子（山梨県立科学館）

1. 概 要

2007年6月17日に山梨県立科学館で行われた天文教育普及研究会 関東支部会において、参加者の皆様から、三つの設問（「印象的だったこと」「プラネタリウムの感想」「なんでもご意見」）に対して自由な感想文をいただきました。ここでは、その研究会の雰囲気になるべくお伝えするために、特に要約することなく、順不同で掲載させていただきます。

2. 印象的だったこと

- ・とにかく皆さんの一生懸命の取組に感服しました。テレビのニュースを聞いても、子供に聞かせたくないような話題ばかりのこの頃ですが、日本にもまだまだすばらしい活動をされている人がたくさんいるということが分かっただけでも、参加して良かったと思います。
- ・このような大きな取組があることに勇気付けられた。
- ・市瀬さんの詩：星のこと、天文のことを子どもたちに知らせること、知識として情報を与えるだけでなく、星の存在を意識することにより生活に潤いができることを意識した活動の必要性を強く感じた。子どもたちに伝える方法はある意味、視覚しょうがい者の方々に伝えると同様に方法もあるが、「説明のしかた」「話術」も大切な課題だと思う。
- ・話のすべてがおもしろかった。
- ・院内授業の方法がおもしろかった。
- ・天文の方々の話を新鮮な感動を持って聞かせていただきました。アリガトウゴザイマシタ。
- ・とても内容が濃くて勉強になりました。
- ・今までで一番役にたった、大変収穫のあった研究会でした。実践例を聞いたことはもちろん

んのこと、視覚しょうがいの方5名もの生のご意見を聞くことができ、普段どんなことを感じているのか、物や色の理解の仕方、困っていることなどがわかって大変良かったです。

- ・各所でさまざまな取組を実施されているが、さまざまな課題が見えてきた。
- ・トークのコーナーが良かったです。視覚しょうがいの方が、宇宙や星空について、どう考えるか、知る機会になりました。
- ・5名の視覚しょうがい者の方のご意見はとても新鮮でした。今まで副音声などは意識してなかったので、聞いていきたいと思います。
- ・当事者主体のアウトリーチの実例を目の辺りにできて大変勉強になりました。
- ・ユニバーサルデザインに関する多数の技法が参考になったが、それ以上に、しょうがい者は支援の対象ではなく、生活の主体である、とか、多様性のある社会が強い社会だ、などなど、しょうがいを持つ方との共生に関する考え方の基本を教えていただいた。
- ・目が見えない方の生の声を聞くことができたことです。また多くの方が、ユニバーサル化のためにいろいろと工夫されていることを知れて良かったです。
- ・視覚しょうがいの方の意見を初めて聞けて感心した。理科教育について改めて考えさせられた。
- ・視覚にしょうがいのある方が、自身の言葉で語り、番組づくりにかかわっていたこと。さまざまな人たちがこの会に興味をもち参加していたこと。そしてすべてのことに「詩」を感じました。
- ・視覚しょうがい者への認識不足を改めて感じました。今回のテーマは、勉強になりました。

- ・星があるということを知るだけで心があたたくなくなるという思いを、多くの人に感じてもらえるように、いろいろな人に天文を広めていきたい、と思いました。
- ・各方面、各方向でさまざまな活動をされている方がたくさんおられてアンケートの結果（十分ではない）にもかかわらず、心強く感じました。また生の視覚しょうがい者の方と直接接することができて大変良かったです。
- ・とても興味深い発表が続きました。質問もさせていただきかけたのですが、時間があまりなくてとても残念でした（正味二日ぐらいほしかったですね）。

3. プラネタリウムの感想

- ・前半の「星空解説」は、高橋真理子さんの肉声による解説と、手許の点字の図の組み合わせとで、何倍にも楽しむことができました。図のボリューム（7 ページ）も、手頃だったと思います。
後半の「星月夜～めぐる大地のうた」もとても良かったです。オリオンの三ツ星の解説（ほぼ天の赤道線上にあることなど）も含まれていましたしね。ドームの東西南北と天頂に当たる位置に、小さなスピーカーをとりつけて、方位を説明するときにそこから小さな音を出すというのはどうでしょうか？ もちろん投影のじゃまにならないように工夫して設置するわけです。（ゲストの視覚しょうがいの方）
- ・初めてプラネタリウムを鑑賞しました。プラネタリウムというと単に星座を眺めたり、星の説明を聞いたりするものだと思っていましたが、予想とはかなり違う内容で驚きました。どこのプラネタリウムでもやっていることではないでしょうし、当館の皆さん（高橋さん？）の情熱がひしひしと伝わってきました。それと、季節とともに星座がどのように動くかを考えながら、頭の中で地球をくるくると回していると、夏の夜には北の方の星が良く

- 見えて、冬の夜には南の方の星が良く見えるということを発見しました！これは夜空を眺めている皆さんには当たり前のことなのでしょうが、私には新鮮な発見でした。副音声は、生でやった方がいいのでは？という意見がありましたが、一度生で録音して、次回からそれを再生するというのもいいかも知れませんね。（ゲストの視覚しょうがいの方）
- ・何かをみたり、聞いたり体験したことによって、今までと考え方や人生観が変わったり、人に優しくなったりすることがあります。私はミュージアムでそういうことができるような働きをしたいと考えていました。「星月夜」をみて、まさにそのことを感じました。高橋さんや科学館のみなさんが伝えたいことがひしひしと伝わりました。なんというか、ソウルのようなものが！
- ・うまいことばが見つからないのですが、今までもっていた、プラネタリウムのイメージを一新させられた貴重な体験となりました。新しい可能性が開けてきたように思います。
- ・大変良かったですし、感動しました。
- ・生解説を聞きながら、実際に点図を触てみましたが（普段、点図に触りなれていないということもあるかもしれませんが）、もう少しゆっくり触りながら聞ける時間がとれたら、初めて星座の形を知る人にとってもよいのではないかと思います。
- ・「星月夜」の映像と音楽が非常によかったです。
- ・今回はラジオを貸してしまったので（笑）、3月のときはMP3でしたが、FMになってすごく楽になったようで、良かったです。
- ・「星月夜」丁寧につくられていて、温かい番組だと思います。山梨のそれなりの空気のきれいさが伝わってきました。
- ・詩的でとても素敵な番組でした。今までみたことない番組でした。テレビの副音声もあまり聞いたことがなかったので、とても新鮮でした。とてもあの音声で十分だと思ったので、

その後、生の声をお聞きして二重にショックでした。あと、音が聞こえない方には難しい番組であった気がします。自分でもどんな方法があるか、考えようと思いました。

- ・プラネタリウムに参加して、点字・点図でプラネタリウムを表現する試みを自分で体感して感動した。この感動を人に伝えるのは難しいと思うが、話をして興味をもった人にはぜひ参加してもらいたい。
- ・副音声も「当たり前」のものにしていきたいです。今回の成果を山梨のホームページにアップしてほしいです。前例がないと取り組みにくいということもあるので……。山梨方式として大々的に発表してください。
- ・視覚しょうがいの人に対する解説の仕方のポイントや副音声のつけ方がわかりました。
- ・点字資料が必要な方と連絡を取り合えると思っています。やはり点字も必要だと実感しました。
- ・初めて参加させていただきました。自分自身が筋力の低下する病気のため、傾斜タイププラネタリウムの階段通路が登れない状態です。数々のハンデを乗り越える方法を知り、大変参考になりました。
- ・大変美しかったです。その反面、漆黒の夜空を体験できるのは、人工的プラネタリウムのみというのも若干さびしいものを感じました。

4. ご意見

- ・参加の動機は、視覚に重きを置く（と思っていた）天文学やプラネタリウムを、どのように目の見えない方と共有するのか？という興味からでした。今日このセミナーに参加して「できることはたくさんあるんだ！」と感激しました。そういった活動の中で、実際にしょうがいを持つ方と一緒に開発してゆく過程もすばらしいと思います。DF（ダイナソーファクトリー）にいたところも考えていたことですが、けんじょう者でもしょうがい者でも

その場を楽しみたい、理解したいという思いは同じ。ただ情報の得方について、得意、不得意があるだけなのだと思います。それならば、来館者ひとりひとりに合った情報の提供をすればいい、その考え方をよく感じました。ミュージアムスタッフとして働いていた私にとって、今のところの結論は、来る人に対して、わかろうとする態度が大切なのだ、と思います。もちろん外国語なども。今後、自分ができることを考えて、活動していけたら、と思いました。

- ・多様なバリアを解消し、ユニバーサル環境を生み出すためには、もっと大きな広がりが必要だと思います。
- ・副音声のリアルタイムですが、プラネ解説の同時通訳、聴覚しょうがい者への同時テロップの例もあるので、取り組んでみてもいいかと思っています。山梨県立科学館のみなさま、お世話いただきありがとうございました。
- ・うちの職場では言語の **divide** も問題になっており、複数の言語方法でのコミュニケーションの努力を継続しなきゃいけないなあ。
- ・科学館の方々のご協力に感謝いたします。大変お世話になりました。
- ・ホスピスで観望会をやりたいです。今のところ、知識も器材もない。
- ・最後のフリーディスカッションのところで、星の位置を音で知らせてはどうかという提案をさせていただきました。これはハード的な問題が絡むので、そう簡単には実現できないと思いますが、長期的に検討していただければ幸いです。それぞれの星の明るさに対しては音量、色（温度）に対しては音の高さを対応させるということもできると思いますし、もっとおおざっぱにそれぞれの星座にテーマ音楽を割り当てて、季節とともにその音楽が入れ替わっていくというようにしてもいいかなと思います。本当に星の世界はいろいろなことを想像させてくれて楽しいですね。